

文字絵コンテスト

日本語パートナーズ タイ 5期 河合幸子

今日はタイの学校の様子についてレポートします。

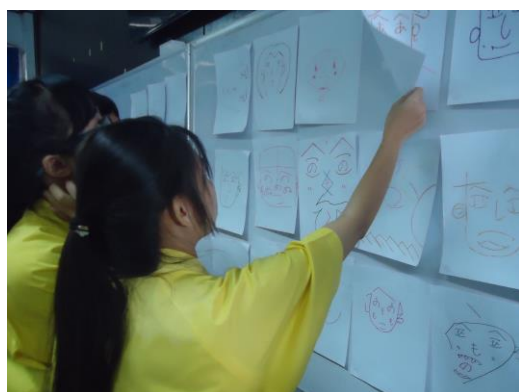
ここサムットプラカーンのバンプリーラートバムルン校の授業は8時20分から始まります。1時限は55分間です。午前中に4時限、12時から1時間の昼休みを挟み、午後から3時限あります。授業が終わるのは15時45分です。

タイでは中高一貫校が多く、M1～M3が中学、M4～M6が高校にあたります。M1～M3は自分のクラスの教室がありますが、M4～M6は自分のクラスの教室はありません。教科ごとに教室を移動します。そして時限間に移動時間はありません。したがって、主にM4～M6の日本語の授業を担当している私は、生徒が来るのをたびたび待つこととなります。移動時間が考慮されていないので無理もありません。

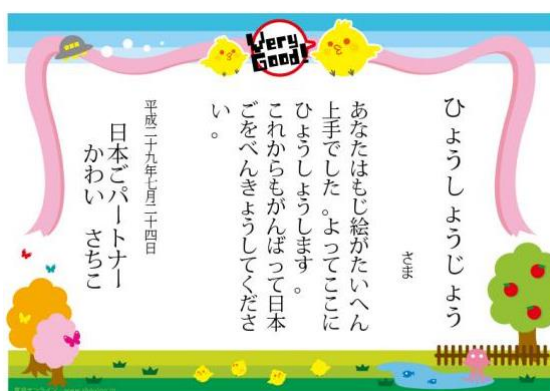
文字絵を知っていますか。メールに入れる絵文字ではないですよ。文字絵とは、文字を組み合わせる絵を作る江戸時代に流行した遊びです。かつて、ガラス窓やノートの端に「へのへのもへじ」と落書きをした覚えがある人もいないでしょうか。

ひらがなを習い始めたM4に、ひらがなを使って文字絵を描いてもらいました。生徒の創造力には驚かされます。日本語を見慣れた私たちと違い、字を絵と捉え、少しの時間でオリジナルな絵がいくつもできました。M5～6の日本語専攻の生徒たちに投票してもらい、文字絵コンテストを開催しました。

文字絵コンテストでは、M5～6の生徒たちが楽しみながら投票している様子が分かりますか。文字絵の入賞賞品として7人の生徒にクレヨンしんちゃんのバッジやカードを手渡しました。



文字絵コンテスト



表彰状



入賞した生徒たち

クレヨンしんちゃん、ドラえもん、ワンピース、NARUTO など日本の漫画はタイの人たちにもお馴染みです。日本語選択の生徒たちは、クレヨンしんちゃんは私の住んでいる埼玉から生まれたことをよく知っています。先日学校で行った七夕祭りでは、会場に漫画ブースが作られました。また、生徒たちは絵を描いたり物を作ったりすることがとても上手で、七夕劇の小道具もあつという間に作り上げました。



七夕会場



七夕漫画ブース



七夕劇